

平成 24 年度 第5回琉球大学動物実験委員会議事要旨

1. 日 時 平成25年1月15日(火) 9:00～9:30
2. 場 所 第二会議室(大学本部棟2階)
3. 出席者 高山委員長(医学研究科)、上田副委員長(医学部)、佐喜眞委員(法文学部)、桑原委員(観光産業科学部)、上江洲委員(教育学部)、池田委員(理学部)、作道委員(医学部)、佐野委員(農学部)、伊村委員(農学部)、堀池委員(財務部)、門脇委員(学術国際部)、堤委員(施設運営部)

4. 議 事

審議に先立ち、今回、新たに委員となられた学部選出の教員を含め今委員会に出席されている委員で、各自自己紹介を行った後、委員長から、平成24年度第4回動物実験委員会の議事要旨について説明があり、了承された。

— 審議事項 —

(1) 動物実験計画書の審査について

20件の動物実験計画書の申請があり、審査の結果、11件は承認「可」とし、他9件については疑義又は指摘事項等があった。指摘された動物実験計画書については、指摘事項の修正等を委員会で確認後、承認することで了承された。

(2) 動物実験計画(変更・追加)承認申請書の審査について

4件の動物実験計画(変更・追加)承認申請があり、審査の結果、3件は承認「可」とし、他1件については指摘事項等があった。指摘された動物実験計画(変更・追加)承認申請書については、指摘事項の修正等を委員会で確認後、承認することで了承された。

5. その他

(1) 動物実験計画書について、「類似」として前回承認済み動物実験計画書を参考資料として添付する場合に、研究課題名が同一であっても研究概要、研究方法等が異なるものであれば研究課題名の後に番号(例えば、研究課題「○○○……………○○(1)又は(2)、(3)」)を記載することにより、前回の動物実験計画書と区別できるとし、研究課題名の記載方法について提案がなされ委員会で了承された。

また、参考資料として添付する承認済み動物実験計画書と研究期間以外全く同じ内容の計画書については、Reductionの観点から好ましくないの、前回の計画書と同じ内容である理由を追加記載することが確認がなされた。

次年度の動物実験計画書の申請時期については、新規、継続分の計画書を含め前年度の3月(通常第6回動物実験委員会)の委員会で審査していたが、申請件数が膨大となるため前年度の1月(通常第5回動物実験委員会)にも申請可能とし、前年度の3月に集中しないよう分散化を図ることについて確認がなされた。

6. 報 告

(1) 委員長から、以前から進めている委員会でのペーパーレス化については、現在工学部院生によりプログラム作成中であるが、運用等について引き続き医学部附属動物実験施設と調整し、すみやかに実施できるようにしたい旨発言があった。

(2) 委員長から、医学部附属動物実験施設で SPF 動物が飼えるスペースが増えたので、SPF 動物のバリア環境下での飼育を希望する他学部の先生方は、これを機会に医学部附属動物実験施設を利用し、研究を進めていただきたい旨各学部の委員から周知して頂きたい旨の申し出があった。

(3) 委員長から、医学部附属動物実験施設の状況について、当初建築された施設の空調設備の老朽化へ

の対応として各飼育室毎にエアコンを設置することを予定しているが、医学部の再開発との関係で、今後再開発を行った場合に、事務サイドでも医学部附属動物実験施設をどのようにしていくか考えていただきたい旨の提案があった。

- (4) 委員長からの農学部亜熱帯フィールド科学センターの飼育施設の現状についての質問に対し、農学部の委員から、担当者がそれぞれ対応しており、県から指導を受け、少しずつ改善していくものと思われるが、施設面を整備していくのではなく、施設の使用でいろいろ制限を設けるといった形での対応になるとの説明があった。